

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2005-535987(P2005-535987A)
【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-046
【出願番号】特願2004-530275(P2004-530275)
【国際特許分類】

G 0 8 B 25/04 (2006.01)

【F I】

G 0 8 B 25/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月21日(2006.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのネットワークと、該ネットワークに接続され、公開識別子を含む少なくとも1つのワッチドッグ装置と、前記ネットワークに接続される少なくとも1つの電気装置とを備える盗難防止システムであって、

前記電気装置は、

記憶手段と、

前記ワッチドッグ装置が存在する場合にその動作を認可し、前記電気装置が機器構成されたワッチドッグ装置の公開識別子を該記憶手段に記憶する機器構成手段と、

前記電気装置が前記ワッチドッグ装置を含むネットワークに接続されたとき、少なくとも1つのワッチドッグ装置を識別する手段と、

識別されたワッチドッグ装置が前記電気装置が機器構成されたワッチドッグ装置に対応していない場合、又は前記ネットワークがワッチドッグ装置を含まない場合、前記電気装置をディスエーブルにする手段と、

を有することを特徴とする盗難防止システム。

【請求項2】

第一の装置と第二の装置とをペアリングする方法であって、前記第二の装置は、前記第一の装置であるワッチドッグ装置に接続されるネットワークに接続されるように設計され、

当該方法は、ワッチドッグ装置が存在する場合にのみその動作を許可するための前記第二の装置を機器構成するステップを備え、前記第二の装置を機器構成するステップは、前記ワッチドッグ装置の公開識別子を前記第二の装置の記憶手段に記憶するステップを備える、
ことを特徴とする方法。